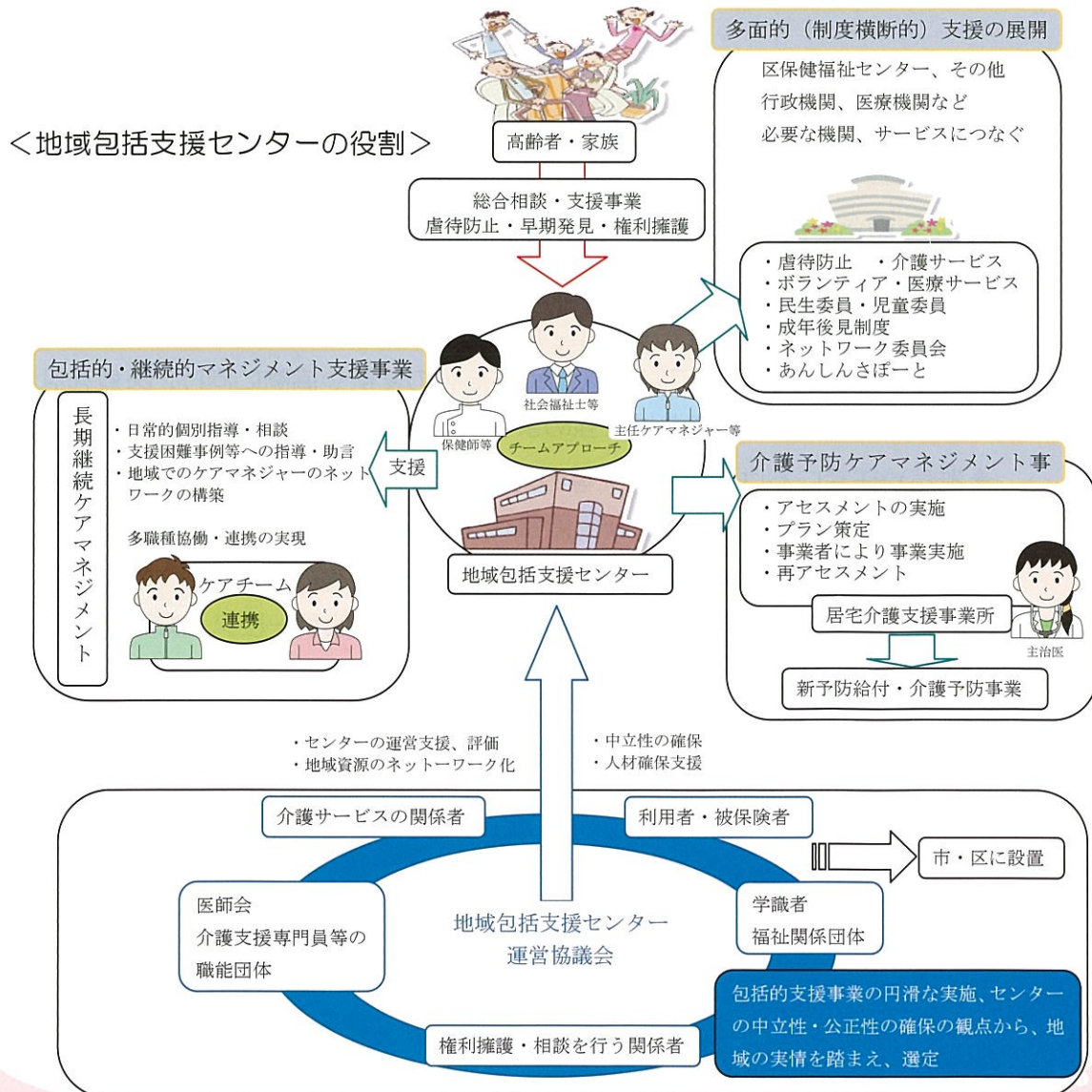


1 高齢者の地域包括ケアの推進

ア 地域包括支援センターの充実

高齢者が住み慣れた地域で生活し続けられるよう、適切なサービスが切れ目なく提供できる体制を構築するうえで重要な役割を担う地域包括支援センターの充実・強化を図るため、

- ◆市民がより身近な地域で相談できるよう地域包括支援センターの増設を行ってきた結果、箇所数も平成18（2006）年度の24か所から54か所となっています。上記のとおり、その役割はますます大きくなっており、どの地域包括支援センターでも等しく質の高いサービスを提供し、適切な支援が行えるよう、専門機関としての質の向上に努めます。
- ◆評価基準をより客観的なものとし、精度を上げていくとともに研修の充実を図ります。
- ◆個別事案への助言・指導や地域包括ケア等に関する助言支援等、後方支援を行う体制の充実に努めてまいります。



イ 地域における住民相互の見守りネットワークの充実と生活支援サービス

ひとり暮らし高齢者等が地域において安心して暮らすためには、近隣住民による見守り・相互援助、サービスへのつなぎ機能が重要であることから、

- ◆大阪市においては、高齢者をはじめ障害者、子育て家庭等のニーズ発見から社会資源の提供、開発にいたるまでのシステムとして地域支援システムがあり、地域レベルの地域ネットワーク委員会等による、現行の発見・見守り・支え合いの取り組みを一層推進するとともに、保健・医療・福祉ネットワーク推進員が地域福祉活動の推進役として、相談支援機関との連携を強化し、地域の福祉課題の解決に向けた活動の活性化を図ります。
- ◆災害時に支援が必要な人を的確に支えていくための仕組みを充実させるためには、地域における日常からのつながりと支え合う関係づくりが不可欠です。特に、ひとり暮らしの高齢者に対しては、地域ネットワーク委員会活動による見守り活動等の生活支援を密接に行う方策を検討する必要があります。

ウ 高齢者の地域生活を支えるための保健・医療・福祉の連携

介護予防や医療ニーズの高い要介護者の在宅ケアの推進等、地域における保健・医療・福祉の連携の重要性が増していることから、

- ◆地域包括支援センターにおいて、地区医師会等の関係機関と協力し、高齢者の地域での生活を支え、生活の質を高めるための連携や協働に向け、医療をはじめ介護・福祉関係者へ働きかけを強めます。
- ◆難病や在宅における緩和ケア等の対応について、地域に密着した訪問看護ステーションや医療機関を中心に在宅療養を一層支援します。
- ◆介護保険施設等における健康管理や緊急時対応、看取りについて、医療と介護の機能分担と連携を行い、利用者にとって適切な医療サービスと介護サービスが提供される体制づくりに努めます。